



— 社会とのかかわりを大切に —

会長 佐々木 正憲

この夏コロナ感染者が大幅に増え、本年度計画しました活動が残念ながら行えない状況が続きました。このような厳しい状況の中でもどうにか活動ができないか検討しています。これからの活動については、会員の皆様のアイデアを生かし、柔軟に工夫しながら進めていきたいと思ひます。

会報取材のため久しぶりに学校現場に行く機会がありました。コロナ禍の中、校長先生を中心に職員の皆さんが一致団結し、学校運営にあたっている姿を見せていただきました。また、「My Note」の記事は、原稿依頼ではなく直接お話をお聞きしてまとめました。自然体でいろいろな人びとと繋がりを持つ姿に元気をもらいました。両取材を通して微力ではありますがいろいろな場面で社会との関わりを持っていきたいと感じました。これからも会員の皆様に直接お会いし、生き生きとした活動を伝えていきたいと思ひます。

My Note

会員の皆様の趣味、活動や楽しく過ごされている様子等を掲載させていただきます。皆様の寄稿をお待ちしています。



(所沢市観光情報・物産館にて)

— チョイ悪じいさん7ケ条 —

- 1.「ここぞ」と思ふ時 燃える気概をもつ
- 2.「ああしたい」「こうしたい」と言う夢を常に抱く
- 3.人の為になり 喜ばれることをやる
- 4.感動する場面に遭遇する
- 5.広く学ぶ機会に関心をもち積極的に参加する
- 6.童心を忘れず、遊び心を発揮する
- 7.今まで蓄積した財産・人脈を生かす

(菊池義信氏作)

『俺が俺でいられる俺流の生き方！』

今年喜寿を迎えられる菊池義信氏(平成20年度入会)に、お話を伺いました。菊池氏は『80歳を一つの区切りとして自分らしく生きるために一チョイ悪じいさん7ケ条一を考え、地域活動や高齢者福祉に取り組んでいる。地域の要望にこたえ、「どじょう捌いを楽しむ会」の座長として様々な介護施設、公民館、観光情報物産館等の文化祭や各種イベントで「どじょう捌い踊り」や「抱腹踊り」を披露している。楽しく踊り励ます自分達も参観者の笑顔や涙、拍手、歓声から大きな感動をいただいている。縁の下での力持ちに徹し、人の為になり喜ばれることをやる。毎日が、楽しく遣り甲斐がある』とにこやかに話していただきました。さらにNPO法人「いつまでも元気に地域でくらす会」のメンバーであり福祉専門学校講師などもされているそうです。これらの活動も一チョイ悪じいさん7ケ条一をもとに実践されているそうです。

今、学校は！

東所沢小学校

所沢市で取り組んでいる教育活動を紹介します。今回は、東所沢小学校を訪問させていただきました。

学校経営の基本理念

はじめに子どもありき

子ども誰もが「よくなり
たい、よりよくなり
たい」と願う本来能動的
な学習者である。

東所沢小校長 藤田恵子先生



タブレットを活用した体育



手袋をつけて遊ぶ縦割り班集会

うちの先生方は、やる気と実践力がすごい！

7月15日、東所沢小学校を訪問させていただきました。「学校の良いところはどこですか」と伺ったところ、教職員・保護者・地域への感謝の思いが語られました。特に先生方への感謝の思いは非常に具体的でした。①学校経営の基本理念をよく理解し特色ある教育を実践している。②常に学び、「はじめに子どもありき」の視点にたった児童の育成に努力している。③授業と生徒指導の一体化と組織的な対応を推進している。これらの取り組みにより子どもたちの笑顔が増えてきたとのことでした。

① 学習者観の理解

子どもは本来能動的な学習者であるという学習者観を理解し、教育実践をしている。

② 常に学ぶ教師

学校課題研究のみならず年複数回、東京学芸大学名誉教授平野朝久先生の指導を受け授業改善に努めている。

③ 授業と生徒指導の 一体化と組織的な対応

インクルーシブ教育の視点を持った学年・学級経営に取り組んでいる。



学校・家庭・地域をつなぐ
どんぐりの森整備



仲間の考えをつなげあう授業



おはなしポケットさんによる
読み聞かせ

毛塚教頭先生によると、「藤田校長先生は、あたたかく、厳しく・優しく、教職員を指導している。」「たくさん目をかけ、声をかけ、自ら自主学習ノートにもコメントをしている。常に、子どもに寄り添っている。」とお話いただきました。

最後に、藤田校長先生に今後の学校づくりについて伺いました。「これからも東所沢小のよき伝統を引き継ぎ、子どもたちを誰一人見捨てることなく、子どもたちの本来もっているよさや可能性を引き出す学校づくりを本校の教職員と共に粘り強く行い、子ども・家庭・地域・さらには職員たちにも愛される学校を目指していきたい。」と穏やかに語っていただきました。

新入会員を紹介します

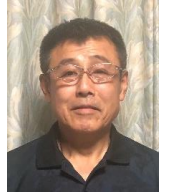
- ☆以下のインタビュー項目に答えてもらいました。
- | | |
|------------------|-----------------|
| (1) 最終勤務校 | (2) 退職した時の気持ちは？ |
| (3) 現在は何をしていますか？ | (4) 今後の抱負 |

宮井 俊充



- (1) 所沢市立小手指中学校
- (2) 先輩からのご指導があり、無事退職して、ほっとしています。
- (3) 初任者の拠点校指導教員
(向陽中・北野中)
- (4) これから数年、今までの経験を少しでも伝えることが恩返しだと思っています。

山下 豊



- (1) 所沢市立狭山ヶ丘中学校
- (2) 緊張感が無くなり、ほっとしています。
- (3) 所沢市立若松小学校で特別支援教育支援員として勤務
- (4) 健康第一に家族の時間を大切にしています。

佐藤 佳岳



- (1) 所沢市立西富小学校
- (2) 在職中は大変お世話になりました。
退職をして少しホッとしています。
- (3) 4月より市内の小学校にて、初任者指導をしております。若い先生と子供達からパワーをもらって若返っております。
- (4) 時間のゆとりを今までなかった旅行に費やしたいと考えています。感染症対策をしっかりとて日本中を巡りたいと思っています。今後とも宜しくお願いします。

田中 俊一



- (1) 所沢市立松井小学校
- (2) これまでの教職生活を懐かしむ余裕もなく、改めて学校教育のやりがいや難しさを感じているところです。
- (3) 4月から市内中学校3校での初任者指導と大学の非常勤講師を務めています。
- (4) 今後も職責を全うできるように、自身の研鑽を積みながら努めていくとともに、余暇を楽しむ時間も大切にしたいと思います。

垣内 真哉



- (1) 所沢市立小手指小学校
- (2) 校長職を全うすることができたのは多くの方々のお陰であると感謝の気持ちでいっぱいです。
- (3) 初任者指導教員として所沢市内の2つの中学校で勤務しております。
- (4) 健康に留意して、少しでも学校教育や社会に貢献できるようにしていきたいと思っています。

菅野 昌司



- (1) 所沢市立上新井小学校
- (2) 多くの方に支えられて無事退職を迎えられ、感謝の気持ちで一杯と同時にほっとしています。
- (3) 市内の小学校で再任用です。(久しぶりの教務主任で四苦八苦です。)
- (4) もうしばらく「教員」として頑張ります。プライベートでは大学で陸上競技(長距離)をやっている息子に刺激され、マラソンのレースに出てみようかなと思っています。

我が街・所沢

所沢市の施設、歴史
や名所等を紹介します。

所沢市立教育センター

学制100年の記念すべき年に設立、それから50年

所沢市立教育センター研究紀要初年度版・井上政平教育長あいさつの中に、「当市は首都圏30kmに位置する人口急増地区で、学童数の増加も激しく、従って年々多数の教員を採用します。

そのため昭和46年度において経験3年未満の者が小学校で49%を越える状況です。そこで昭和46年度に教科研究員、教育相談員、指導委員に教育工学的な立場から効率的な学習指導法を研究していただき、その構想を中心にして教育センターを開設することにしました。研究担当者の努力と学校長はじめ教職員各位の協力と、市ならびに市議会、PTA等各般の方々のご理解のもとに、昭和47年度より教育相談室の中へ所沢市立教育センターを設立しました。時あたかも学制100年の記念すべき年に当りますので実に意義深いことであると思います。」とある。

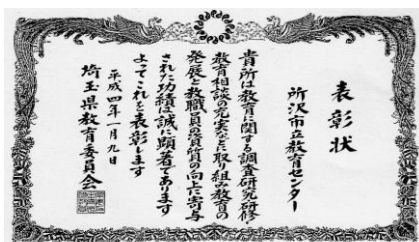
昭和47年度所沢市立教育センター刊行研究紀要のNO.1とNO.3では、「授業効率を高める教科指導の研究」について「小中社会科、算数・数学、理科」で取り組んでいる。本会会員の小澤一夫氏、榎本剛久氏の名前が中社研究員にみられる。NO.2の「教育相談部の現状と課題、訪問相談の実践的試み」には、本会会員の牧田和子氏、田部真一氏の名前が研究員にみられる。NO.4では、「小学校3年生社会科・地域学習用資料集」が刊行された。それから50年、令和3年度の研究紀要は、NO.267となり50年の歴史を感じる。

教育センターは、昭和43年度、44年度に告示された学習指導要領の趣旨を生かした新しい教育の実現、教職員の資質の向上、人材育成、学校教育の質的向上と活性化を目的として設立された教職員の研修や研究をする施設である。この精神は、以後20年（そして50年）という時代を越えて引き継がれ教育センターの運営各事業推進の基本的精神として現在に生きている。（「教育センター20年のあゆみ」より一部抜粋）

令和4年度では「教師一人一人が力をつけ、学校力を高め、子どもの生き抜く力を育む」を基本理念とし取り組んでいる。近年では、研究・研修、教育相談事業、社会教育事業とともに、ICT推進事業、心のエネルギープロジェクトや早稲田大学研究連携がみられる。

（右図：令和4年度教育センター要覧表紙）

所沢市立教育センターの益々の充実と発展を期待している。



受賞 平成3年度埼玉・県教育功労者・
優良教育施設・団体表彰]



会員の声

貴重なご意見をいただきました。

◎コロナ禍の続くなか、会報「みんなの広場」の発行は、時宜をえたものと感心しました。会員相互のつながり等大いに役立つことと思います。（平成19年度入会久田紘治氏）

◎コロナ禍、大変な運営をありがとうございます。今年度は、少しセーブして仕事と孫の世話になりそうです。皆様に今年こそお会いできますように。（平成31年度入会山中徳子氏）

【本部役員】会長・佐々木正憲、副会長（加藤匡代、羽田禮子、鈴木良明）

幹事長・内野正行、副幹事長（広報）丸山 昇、庶務幹事（研修・広報）齋藤敏男、
（旅行）小島浩司、（会計）青木章次、川音孝夫

【編集委員】（委員長）丸山 昇 （委員）佐々木正憲、鈴木良明、内野正行、齋藤敏男

◎寄稿、ご意見や要望等がございましたら編集委員までご連絡ください。